

稲作



出穂期以降の水管理について

登熟を促す水管理

① 出穂後30日間は間断かん水で土壌水分を保ち、稲体の活力を維持して、登熟と米粒の肥大を促進させましょう。早期落水は根の活力を低下させ、品質低下や倒伏を助長させますので、ご注意ください。

② 高温時（日中30℃以上、夜間25℃以上）は、入水・湛水により地温低下と水分供給に努めましょう。台風やフェーン現象で乾燥した風が強い場合は、湛水管理を行い、稲体の急激な水分蒸散による消耗を軽減するように努めましょう。

斑点米カメムシ類の防除

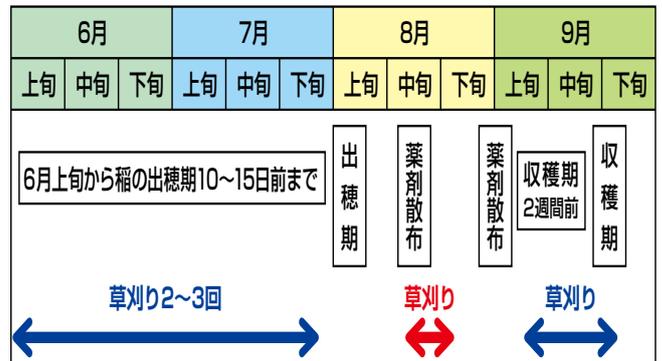
今年のすくい取り調査で、アカスジカスミカメの大量発生が確認されています。水田内に、イヌホタルイ・シズイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエ類が多発すると、アカスジカスミカメの水田内への侵入を助長するので、雑草対策を徹底しましょう。

アカスジカスミカメ		成虫侵入	産卵	幼虫発生	
出穂期後日数		0	7~10	21~24	28~34
防除体系	茎葉散布剤 (長期残効性)		●		●
	湛水散布剤 (粒剤)		●		●

【本田防除】

分類	使用時期	使用薬剤	使用量 (/ 10a)	使用回数
●	出穂期10日後頃	スタークル粉剤 DL	3kg	3回以内
●	出穂期10日後頃	スタークル液剤 10	1000倍 150ℓ	3回以内
●	出穂期7~10日後	スタークル粒剤	3kg	3回以内
●	1回目散布の14日後頃	キラップ粉剤 DL	3kg	3回以内
●	1回目散布の14日後頃	キラップフロアブル	1000倍 150ℓ	3回以内

*アカスジカスミカメが多発しているほ場では、スタークル剤を用います。
*1回目散布剤との連用を避けるため、追加防除剤はキラップ剤とします。



生産履歴記帳運動

出荷されてくる青果物も増え、出荷時期が過ぎた作物もあります。それでも...

生産履歴用紙を提出していない方がいます。

今後、出荷時期が過ぎても提出のない生産者については、各出荷場所への貼り付け等を行いますので、なるべく早くに出してください。

出荷が終わる前に必ず提出を!

**生産履歴用紙はきちんと記入して
必ず出荷前に提出しましょう!!!**

★今月は米の来歴カードも配布しています★

※提出期限は9月末までです。

きちんと記入して、期限を守って提出してください。

★栽培協定書も必ず提出してください!★



営農行事案内 農機展示会を開催します

秋の農作業を控えた生産者に向けて、8月22日と23日の2日にわたり、農機展示会をJAカントリーエレベーター敷地内で開催します。当日は各種高性能農業機械の展示・説明のほか、担当者から農作業安全講習会も行われますので、ぜひご参加ください。

秋の農作業を控えた生産者に向けて、8月22日と23日の2日にわたり、農機展示会をJAカントリーエレベーター敷地内で開催します。当日は各種高性能農業機械の展示・説明のほか、担当者から農作業安全講習会も行われますので、ぜひご参加ください。